

平成25年 第13回 教育委員会臨時会議事録

招集日時 平成25年11月22日(金曜日) 午後4時開会/午後4時40分閉会
招集場所 加賀市市民会館3階 教育長室
出席委員 上田政憲、酒谷百合子、畑中直子、中西修一、旭直樹
会議列席者 掛山事務局長、網谷次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、

梶谷課長 平成25年第13回教育委員会臨時会開会宣言
今のところまだ委員長が決まっておりませんので、事務局の方で進行させていただきます。はじめに審議事項の議案第27号です。

旭教育長 任命式が終わったところですから、我々はいいですけど中西さんはわからないから自己紹介をまずしてから選ばないと。

掛山局長 そうしましょう。

梶谷課長 では、お願いいたします。

旭教育長 ただいま任命していただきました旭です。よろしくお願いいたします。

上田委員長 教育委員が今日から3年目に入ります、上田と申します。よろしくお願いいたします。

中西委員 この度は初めて41歳ながら、僕みたいな者でいいのかと思っているんですけども、4年間皆様のご指導をいただきながら一生懸命やらせていただきますので、よろしくお願いいたします。中西です。

酒谷委員 酒谷でございます。私はあと1年です。よろしくお願いいたします。

畑中委員 畑中と申します。私も私みたいなのでいいのかと思いつけながら、今日から2年目になります。よろしくお願いいたします。

旭教育長 事務局もお願いします。

掛山局長 はい、事務局も紹介します。私は教育委員会の事務局長をしております掛山といいます。またよろしくお願いいたします。

網谷次長 私、事務局次長兼学校指導課長の網谷と申します。よろしくお願いいたします。

中矢次長 同じく事務局次長兼九谷焼美術館の館長をしております中矢です。どうぞよろしくお願いいたします。

梶谷課長 教育庶務課の梶谷と申します。よろしくお願いいたします。委員会等の事務処理をします。また連絡等もしますので、よろしくお願いいたします。それでは改めまして、第13回の加賀市教育委員会臨時会を開会いたします。では、お手元の資料に今回の審議事項、まずは議案第27号についてです。

■ 議案第27号 加賀市教育委員会教育長の任命について
梶谷課長 資料に基づき説明

掛山局長 これも事務局で進めます。教育長については前教育長の旭直樹さんにそのまま任命ということですが、よろしいでしょうか。挙手をお願いいたします。

全委員 全員挙手

掛山局長
旭教育長

決定ということで、一言お願いします。

ただ今、任命していただきました旭と申します。それぞれ皆さんが目標といいますか、気持ちは一緒だと思います。私は教育長という委員会の中の一人として、常任というかたちで務めさせていただきます。常任である以上は、事務局と一体になって何を指すかという、私の個人的なところもありますけども、加賀市の子ども達に自信と誇りを持たせたい。これがとにかく感じられない。やっぱり井の中の蛙になっているところがあるので、自信と誇りを持たすためにどうしていったらいいか。いろんな仕掛けをしていかないといけない。2つ目は、こんなに素晴らしい郷土といいますか、加賀市に住んでいますもので、加賀市の良さをあまり知らない。どこでも一緒だと思いますが、故郷を思い、志のある子を育てたい。将来、世界中どこへ行ってもいいんだけど、ここを原点に育ててほしいということで、志のある子を作っていきたい。ここに残ってほしいというのはもちろんなんですけども、ただ残るだけではだめだと思っているんです。やっぱり天下国家を見てきて、ここを見れるようなそういう人間を、少年を対象にだけじゃありませんけども、志の教育をやっぱりしていかないといけない。よく例えて、「鮭は生まれた川へは戻ってこない。生まれ育った川に戻ってくる」と。要するに鮭というのは水槽の中で生まれるのか、川の中で生まれるのか、どこでもいいんですけども、そこで育たなければ故郷にならない。だから育てるといいですか、小中学校より以前から故郷を思い、志のある子を育てていきたい。そういうような話を絶えず持ちながら学校訪問であるとか、あるいは文化活動、それからスポーツ活動、あるいは伝統的な能とかいろんなのがあります。そういうことで、故郷に誇りと愛着が持てるようにいろんな仕掛けをしていかないといけない。狙いは今も言ったように自分というものに対して自信と誇りを持たせたいということ。私が大聖寺高校の校長をしていた時に、逃げる子が多かった。チャレンジしない。せっかく生をいただいておるので、チャレンジしてほしい。最後に一つだけ。これは私のモットーですけども、「やった後悔よりもやらなかった後悔の方が後で尾を引く」ということを絶えず私は思っております。ただ猪突猛進はいかんですけども、「迷ったらGO」というのが私の信念です。AかBか迷ったら、より厳しい方を選びなさいと。そして失敗してもいいから、楽な方に逃げたらいずれ死ぬ時に後悔するというふうに思っております。辛いかもしれませんが、特に青少年に対してそういう姿勢を大人が示していかない限り、自分に誇りを持ってないんじゃないかなと思いますので、そういう姿勢で加賀市教育委員会事務局を元気ある事務局にして、先生方に我々5人の意欲といいますか、それを示していくことが我々の役割でないかと思います。幸いに今、学校教育関係におきましては、先生方が全体的に右肩上がりに頑張ってきてくれていると思います。課題はこれから見ていただければわかると思うんですけども、やはり中学校だと思っています。思春期をどう上手く乗り越えさせていけるか、そういう教育ができるかというところにかかっているかと思います。小学校ははっぴりよくなりました。語り出すと切りがないので、この辺でやめたいと思います。

梶谷課長 　　またチーム加賀市教育委員会としてよろしく願いいたします。
では、続きまして議案第 28 号についてです。

■ 議案第 28 号 加賀市教育委員会委員長の選挙について
梶谷課長 資料に基づき説明

掛山局長 　　加賀市教育委員では指名推薦の方法を採っておりました。そのように進めていた
だければと思います。どなたか指名推薦をしていただけないでしょうか。

酒谷委員 　　上田委員長さんはとてもお忙しいと思うんですけど、何とかもう一度お願いした
いと思います。よろしく願いいたします。

掛山局長 　　委員長に上田委員ということで推薦がございましたけども、他ないでしょうか。
皆さんよろしいでしょうか。

全委員 　　異議なし。

掛山局長 　　では、全会一致ということで、昨年に引き続き上田委員に委員長をしていただく
ということで、ご挨拶お願いいたします。

上田委員長 　　ご存じとは思いますが、この中では一番年齢が上でございます。奇しくもと
言いますか、実は明日が誕生日でございまして、67 歳になります。それだけ歳
をくっている割には本当に情けないんですけども、正直申し上げて大聖寺に生ま
れて大聖寺で育って、この 67 年余りの間、大聖寺を離れたのは初任の年で、珠
洲実業という学校へ赴任した 3 年間だけなんです。あとは全部家からみんな通っ
ており、ずっと教員をしておりましたから、それまで地元に対して貢献度はどう
なのかといたら、ほとんどゼロに近かったんですね。そういうことで、定年
になってから何か地元のためにお役に立てることはないかと考えてきたわけ
ですけれども、2 年前に教育長さんから教育委員にぜひにと勧められ、少しでもお
役に立てるのならということでお受けしたわけですけども、ただ、学校の中の
ことは知ってますけども、それ以外のことは本当に正直、井の中の蛙でして、こ
れまでも随分皆さんにご迷惑をおかけしてきたと思いますし、そういう点で委員
長という職が自分に十分全うできるのか、去年もそうでしたけども、これからも
やっぱりまだまだ大変心配でございます。その辺りは皆さんにご協力いただい
て、やっぱり最終的には将来の加賀市を担ってくれる子ども達の教育をきちんと
していくということを最終目標に掲げながら頑張っていきたいと思いたすので、
よろしく願いいたします。

梶谷課長 　　ありがとうございました。では、法の規定によりまして教育委員会の会議は委員
長が主催するということがございますので、ここからは委員長にお願いしたいと思
います。

■ 議案第 29 号 加賀市教育委員会委員長職務代理の指定について

上田委員長 　　次は職務代理を決定しないといけないんですね。

掛山局長 職務代理は指定ですので、委員長さんをご指定いただいて、ご了解いただければそれでよろしいかと思えます。

上田委員長 酒谷委員さん、よろしくお願ひします。みなさんもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

酒谷委員 よろしくお願ひいたします。

上田委員長 それでは、その他ですね。教育委員担当校(案)について、事務局より説明お願ひします。

■ その他(1) 教育委員担当校(案)について
網谷次長 資料に基づき説明

旭教育長 それで付け加えですけど、これはあくまでも担当でありまして、我々は加賀市の教育委員ですので、他の学校をぜひ自分で時間が空いている限り網羅して見ていただければと思えます。計画訪問等の時を利用していただけるといいかと思えます。特に担当の黒丸の場所は、計画訪問があろうがなかろうが、普段から校長あるいは教頭と連絡を取って、肩肘を張って行かなくても、絶えず連絡を取って校区内のいろんな行事であったり、ちょっとしたPTAの時に来たり、その校区のスタッフの一員という感じでやっていただきたいんです。この後、ここで了解を得たら、網谷さん、校長会は12月3日でしたか。

網谷次長 12月2日です。

旭教育長 12月2日の校長会で、新しい委員の中西委員も入ったことですから、新しい担当区割りといいますか、これを示します。示しますと、それぞれの学校長は、例えば片山津小学校の校長であれば「中西委員さんか」ということになるから、連絡を取っていただきます。しょっちゅうじゃないですけど、担当医みたいなもので、普段から特に自分の担当のところはきめ細かに連携を取って見ていただければいいというかたちになるかと思えます。卒業式・入学式等は、こういう担当のところへ行ってご挨拶をお願ひしないといけないかと思えます。運動会もありますね。無理はなさらなくて結構なんですけど、いろんな諸行事は時間が許す限りそういうところでお願ひしたいなと思えます。あと何か。

網谷次長 教育長のおっしゃった通りです。

上田委員長 では、その他(2)にまいりたいと思えます。

■ その他(2) 加賀市立小学校・中学校の卒業式について
網谷次長 資料に基づき説明

旭教育長 まだ早いかもしれませんが、皆さんお仕事されておりますので、日程のわかっているものは入学式。4月7日じゃありませんか。今度は連休に入って5日は休みになるもので。

網谷次長 付け加えさせていただきます。年度が変わりますので申し上げますと、来年度の入

旭教育長 学式は4月7日月曜日でございます。

網谷次長 午前と午後あるんですね。

掛山局長 小学校が午前中で中学校は午後ということになります。例年ですと4月5日が入学式なんですけど、来年度は5日が土曜日、6日が日曜日ですので、7日の月曜日を入学式と決めさせていただきました。

旭教育長 もう一つだけ、4月6日が成人式です。

旭教育長 それも出てもらわないといけない。この成人式が大変。あと2年間我慢してもらわないといけないかもしれない。

上田委員長 何で2年間なんですか。

旭教育長 荒れる子がいるんです。落ち着いた成人式を目指しているんですが、まだまだです。

上田委員長 卒業式の方は教育委員会の告辞を読み上げるだけですか。

網谷次長 はい。

上田委員長 入学式になると祝辞になりますが、告辞は自分でどうしようもならない。

網谷次長 前もって案を作らせていただきますので、よろしく願いいたします。

畑中委員 質問してもいいですか。

上田委員長 どうぞ。

畑中委員 告辞とか祝辞って置いてくるのか持っていくのか。

上田委員長 告辞は置いてくるんですけど、祝辞は持って帰ります。

畑中委員 でも私、持って帰ったらその後置いていかれる方がいらしたので、置いてくるべきだったんだと思いましたので。

旭教育長 祝辞でも置いてきても構いません。告辞は教育委員会が告げるわけですから、置いてください。入学式は申し訳ないんですけども、午前と午後の1日、もしもダメなら早めに事務局に言っていただければやり繰りします。ただ、教育委員さん本当に申し訳ないんですけども、入学式は1日だと思ってください。

上田委員長 もちろん、午前と午後がありますから。

旭教育長 成人式は午前中だけです。

畑中委員 卒業式も午前中ですか。

旭教育長 中学校もそれぞれ午前中です。

上田委員長 日が違うから午前、午前になるんですね。

酒谷委員 2~3年前は午前中に入学式も一緒でしたよね。

旭教育長 それは議会でも質問されましたし、お母さんは小学校と中学校の両方行かないといけないのに重なっているのはどうなんだと言われて、このようにしたんです。親御さんが両方出やすいようにしたんです。

上田委員長 ではそれくらいにして、その他ございますか。

梶谷課長 次回12月の定例会の日程を決めたいと思うんですけども、24日はいかがでしょうか。

掛山局長 24日に新しい委員さんも来られましたし、辞められた委員さんもおいでしますので、歓送迎会をその日の夜に開催したいと思います。子どもさんがおいでる中西

委員さんにはクリスマスの大事な家庭のイベントの時に申し訳ないですが、
中西委員 全然大丈夫です。
掛山局長 夕方くらいでもいいんじゃないでしょうか。議案としてはそんなにないですね。
旭教育長 いや、ありますよ。学校の統廃合説明会に年が明けたらしないといけないでしょう。それを24日にやらないといけない。
掛山局長 議会を挟んで指定管理の選定会があるんですよ。
旭教育長 少子化に伴う学校の統廃合というのが加賀市の喫緊の課題なんです。加賀市の中で一番重大なことは、黒崎小学校の全校生徒が来年15人になるんです。1年生1人、2年生1人、2人で1学級なんですけど、こういう状態をどのようにフォローしていくか。あるいはそういう地域に入って、保護者にまず安心感を与えないと、小さくても我々加賀市はこのようにフォローしますよと、ご希望であるならば教育環境上、橋立小学校に行くという考えは教育委員会に原点を作っているんです。それを説明して歩かないといけないんです。菅谷小学校もそうです。来年、菅谷も本当なら4~5人入ってこないといけないんですけども、入学生がゼロ。ということは入学式がないんです。それで全校生徒が16人になるんです。親御さんが非常に不安になっているもので、できるだけ早く教育委員会として説明にあがらないといけない。ということで、事務局がほとんど準備しますが、地域説明に入るときは、我々事務局と委員さんどなたか2~3人、全員で行かなくてもいいと思いますけども、そういう打ち合わせをしないといけない。保護者からいろんな質問が来たりするので、それに対して答えていかないとけない。Q&Aは一応用意してありますけども、今度12月24日ですか。
梶谷課長 20日の午前中に会議を開きまして、夕方に歓送迎会を開こうかと思えます。
掛山局長 20日の2時から文化会館の指定管理の選定会があるんです。選定会が終わると夕方になってしまうので、午後はできません。
旭教育長 私は常任だからいつでもいいんですけども、皆さんお忙しい中できますか、ということですね。
梶谷課長 20日の午前中はいかがですか。
中西委員 何曜日ですか。
梶谷課長 金曜日です。
中西委員 多分大丈夫だと思います。
掛山局長 畑中さんは大丈夫ですか。
畑中委員 はい。
旭教育長 では、早くして20日の午前10時で、夜は歓送迎会ですか。
梶谷課長 はい。18時から歓送迎会です。
上田委員長 では、以上で第13回教育委員会臨時会を終了します。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。